



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名 株式会社住友倉庫
 コード番号 9303 URL <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 安部 正一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角谷 曜雄
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6581-1183

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	39,367	1.3	2,333	△5.3	3,111	2.3	1,993	10.2
25年3月期第1四半期	38,850	14.2	2,464	△3.0	3,042	△3.2	1,808	△3.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 6,741百万円 (928.8%) 25年3月期第1四半期 655百万円 (△69.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.17	11.16
25年3月期第1四半期	10.14	10.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	270,351	146,052	51.5
25年3月期	263,931	140,297	50.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 139,344百万円 25年3月期 133,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	2.8	4,900	△3.2	5,500	△0.8	3,200	0.3	17.94
通期	159,000	1.6	9,900	△3.0	10,900	△2.3	6,500	4.5	36.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、4ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	195,936,231 株	25年3月期	195,936,231 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	17,465,715 株	25年3月期	17,516,981 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	178,453,557 株	25年3月期1Q	178,321,126 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政府・日銀による大胆な金融緩和を含む成長重視の経済政策により、市場での期待感等から株高・円安基調となり、輸出取引も増加に転じるなど、景気回復の兆候が見られるようになってまいりました。一方で、政府の経済政策の実体経済への波及の動きは鈍く、国内の荷動きは本格的な回復には至らないまま推移しました。

このような情勢のもとで、当社グループは、物流事業では、在庫管理・流通加工・輸配送・情報システム等を組み合わせた総合物流サービスを幅広く提供すべく、国内外において積極的な営業を展開するとともに、海運事業では、輸送数量の維持・拡大及び新規荷主の獲得に努め、また、不動産事業では、既存賃貸物件のテナントの確保に努めるなど、収益の維持・拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間は、物流事業において国際輸送の取扱いが回復したことなどから、営業収益は393億6千7百万円と前年同期比1.3%の増収となりましたが、営業利益は、人件費や作業諸費等の増加により、23億3千3百万円と前年同期比5.3%の減益となりました。一方、経常利益は、為替差損益の改善や受取配当金の増加等により31億1千1百万円と前年同期比2.3%の増益、四半期純利益も、特別損益が改善したことから19億9千3百万円と前年同期比10.2%の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①物流事業

倉庫収入は、運動用品等の雑工業品・書類を中心に倉庫保管残高が堅調に推移し、56億1千6百万円（前年同期比1.3%増）となりました。港湾運送収入は、為替相場が円安に転じたことなどから輸入貨物の取扱いが減少し、89億1千8百万円（前年同期比4.0%減）となりました。国際輸送収入は、アジア・欧州関連の国際一貫輸送の取扱いが回復し、設備・機械等のプロジェクト輸送も好調な取扱いとなったことから73億3千7百万円（前年同期比13.2%増）となりました。陸上運送ほか収入は、物流施設賃貸収入が増加したものの、国内貨物の荷動きが低調であったことなどから陸上運送収入が減少し、94億9千2百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は313億6千4百万円（前年同期比1.6%増）となりましたが、人件費や作業諸費等の増加により営業利益は前年同期並みの20億3千3百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

②海運事業

為替が円安となったことなどから、営業収益は58億9千1百万円（前年同期比1.9%増）となりましたが、季節的な要因で取扱いが低調に推移したため、1千万円の営業損失（前年同期比2千9百万円の改善）となりました。

③不動産事業

一部の賃貸物件において賃料改定を実施したことなどから、営業収益は23億8千4百万円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は13億4千7百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

(注) 1. 上記のセグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益2億7千2百万円（前年同期2億6千7百万円）を含んでおります。

2. 上記のセグメントの営業利益は、各セグメントに帰属しない全社費用等10億3千6百万円（前年同期9億2千1百万円）控除前の利益であります。

セグメント別の営業収益内訳

内訳	前第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同期比増減	
			増減額	比率%
物流事業	30,880百万円	31,364百万円	484百万円	1.6
（倉庫収入）	(5,543)	(5,616)	(73)	(1.3)
（港湾運送収入）	(9,290)	(8,918)	(△371)	(△4.0)
（国際輸送収入）	(6,483)	(7,337)	(853)	(13.2)
（陸上運送ほか収入）	(9,563)	(9,492)	(△70)	(△0.7)
海運事業	5,780	5,891	110	1.9
（海運事業収入）	(5,780)	(5,891)	(110)	(1.9)
不動産事業	2,456	2,384	△71	△2.9
（不動産事業収入）	(2,456)	(2,384)	(△71)	(△2.9)
計	39,117	39,640	523	1.3
セグメント間内部営業収益	△267	△272	△5	△2.2
純営業収益	38,850	39,367	517	1.3

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態について、資産合計は、株式相場の上昇による「投資有価証券」の増加等により前期末比64億1千9百万円増の2,703億5千1百万円となりました。また、負債合計は、投資有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」の増加等により、前期末比6億6千4百万円増の1,242億9千9百万円となりました。純資産合計は、投資有価証券の時価の上昇に伴う「その他有価証券評価差額金」の増加等により、前期末比57億5千4百万円増の1,460億5千2百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により24億2百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入や有形固定資産の取得による支出等により58億3千4百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済及び期末配当金の支払等により5億4千2百万円の減少となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」(7億2千4百万円)を加えた全体で32億5千万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、132億4千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績が概ね計画どおりに推移していることから、連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間及び通期とも、平成25年5月10日に公表しました予想数値を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,175	23,004
受取手形及び営業未収入金	17,692	18,195
販売用不動産	80	80
仕掛品	29	31
繰延税金資産	1,061	850
その他	3,706	3,945
貸倒引当金	△119	△133
流動資産合計	45,627	45,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,659	60,318
機械装置及び運搬具(純額)	2,906	3,085
船舶(純額)	8,795	8,673
工具、器具及び備品(純額)	977	976
土地	46,159	46,571
建設仮勘定	2,148	2,378
その他(純額)	279	294
有形固定資産合計	121,926	122,297
無形固定資産		
のれん	3,602	3,772
借地権	4,858	4,905
ソフトウェア	1,717	1,584
その他	599	608
無形固定資産合計	10,777	10,871
投資その他の資産		
投資有価証券	76,258	81,658
長期貸付金	385	426
繰延税金資産	2,333	2,493
その他	6,983	7,052
貸倒引当金	△360	△423
投資その他の資産合計	85,600	91,207
固定資産合計	218,304	224,375
資産合計	263,931	270,351

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	11,047	11,243
1年内償還予定の社債	100	100
短期借入金	25,444	15,764
未払法人税等	1,933	998
賞与引当金	1,441	1,070
その他	6,037	12,056
流動負債合計	46,004	41,234
固定負債		
社債	400	350
長期借入金	42,119	52,287
繰延税金負債	18,971	20,633
退職給付引当金	2,604	2,661
役員退職慰労引当金	125	113
長期預り金	12,295	5,998
その他	1,111	1,019
固定負債合計	77,629	83,064
負債合計	123,634	124,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,822	21,822
資本剰余金	19,175	19,175
利益剰余金	74,710	75,723
自己株式	△9,103	△9,076
株主資本合計	106,606	107,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,587	30,644
為替換算調整勘定	△451	1,054
その他の包括利益累計額合計	27,136	31,698
新株予約権	88	83
少数株主持分	6,465	6,624
純資産合計	140,297	146,052
負債純資産合計	263,931	270,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益		
倉庫収入	5,543	5,616
港湾運送収入	9,180	8,820
国際輸送収入	6,483	7,337
陸上運送収入	6,928	6,740
海運収入	5,733	5,828
物流施設賃貸収入	1,244	1,296
不動産賃貸収入	2,317	2,256
その他	1,418	1,471
営業収益合計	38,850	39,367
営業原価		
作業諸費	23,920	23,999
人件費	4,327	4,557
賃借料	2,395	2,324
租税公課	495	472
減価償却費	1,435	1,464
その他	1,678	1,830
営業原価合計	34,253	34,648
営業総利益	4,596	4,719
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,089	1,177
賞与引当金繰入額	162	161
退職給付費用	57	54
のれん償却額	98	107
その他	724	884
販売費及び一般管理費合計	2,131	2,385
営業利益	2,464	2,333
営業外収益		
受取利息及び配当金	713	775
持分法による投資利益	13	38
その他	102	185
営業外収益合計	828	998
営業外費用		
支払利息	179	166
その他	71	55
営業外費用合計	251	221
経常利益	3,042	3,111

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	48	13
投資有価証券評価損	106	—
特別損失合計	155	13
税金等調整前四半期純利益	2,898	3,098
法人税、住民税及び事業税	757	865
法人税等調整額	271	179
法人税等合計	1,028	1,045
少数株主損益調整前四半期純利益	1,870	2,053
少数株主利益	61	59
四半期純利益	1,808	1,993

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,870	2,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,350	3,062
為替換算調整勘定	1,095	1,517
持分法適用会社に対する持分相当額	39	108
その他の包括利益合計	△1,215	4,688
四半期包括利益	655	6,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	524	6,555
少数株主に係る四半期包括利益	130	185

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,898	3,098
減価償却費	1,622	1,676
のれん償却額	98	107
引当金の増減額(△は減少)	△451	△253
受取利息及び受取配当金	△713	△775
支払利息	179	166
持分法による投資損益(△は益)	△13	△38
固定資産売却損益(△は益)	△11	—
固定資産除却損	48	13
投資有価証券評価損益(△は益)	106	—
売上債権の増減額(△は増加)	51	△319
仕入債務の増減額(△は減少)	△291	△76
その他	534	57
小計	4,060	3,655
利息及び配当金の受取額	719	777
利息の支払額	△299	△259
法人税等の支払額	△1,965	△1,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,514	2,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△620	△8,205
定期預金の払戻による収入	6,229	5,165
有形固定資産の取得による支出	△6,716	△1,931
有形固定資産の売却による収入	14	7
無形固定資産の取得による支出	△340	△293
投資有価証券の取得による支出	△19	△505
貸付けによる支出	△47	△48
貸付金の回収による収入	220	11
その他	△741	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,020	△5,834
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,062	4,879
短期借入金の返済による支出	△2,849	△2,621
長期借入れによる収入	12,240	15,750
長期借入金の返済による支出	△20,410	△17,518
配当金の支払額	△1,011	△927
その他	△31	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,000	△542
現金及び現金同等物に係る換算差額	530	724
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,977	△3,250
現金及び現金同等物の期首残高	22,703	16,492
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,726	13,242

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	海運事業	不動産事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	30,761	5,733	2,355	38,850	—	38,850
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	119	46	100	267	△267	—
計	30,880	5,780	2,456	39,117	△267	38,850
セグメント利益又は損失(△)	2,037	△40	1,389	3,386	△921	2,464

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△921百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△970百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社は、海運事業を営むWestwood Shipping Lines, Inc.を連結子会社とし、前第4四半期連結会計期間から、新たに海運事業を開始したことに伴い、同会計期間から「海運事業」を報告セグメントに追加している。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した定率法を採用している有形固定資産の減価償却の方法について、改正後の法人税法に基づく定率法に変更している。

これによる報告セグメントごとの損益への影響は軽微である。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	海運事業	不動産事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	31,252	5,828	2,286	39,367	—	39,367
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	111	63	97	272	△272	—
計	31,364	5,891	2,384	39,640	△272	39,367
セグメント利益又は損失(△)	2,033	△10	1,347	3,370	△1,036	2,333

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,036百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,007百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。